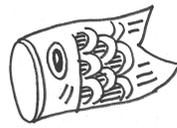


タンネウシ



5月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

無料開館「国際博物館の日」

5月18日(土)は国際博物館会議(ICOM)が1977年に定めた国際博物館の日です。知床博物館ではこの日を記念し、無料開館します。この日は博物館の社会における役割について知ってもらうことを目的に制定されました。ICOMは、文化交流を進め、文化の質を高めることで人の相互理解と協働を促進し、平和な社会を実現することが博物館の果たしている重要な役割であるとしています。

シンポジウム「北海道東部・北方四島の生態系と保護(仮題)」

これまで北方四島では植物、魚類、鳥類、海獣類などの研究者が調査を実施してきました。その成果を報告し、あわせて今年来訪を予定している国後島の保護区関係者から最新情報を話してもらいます。▶日時：5月26日(日)13:00~17:00▶講師：大泰司紀之(北大名誉教授)、藤巻裕蔵(帯広畜産大学名誉教授)ほか▶場所：ゆめホール知床会議室1(※博物館ではありませんのでご注意ください)▶申込不要、入場無料▶主催：NPO法人北の海の動物センター・斜里町立知床博物館

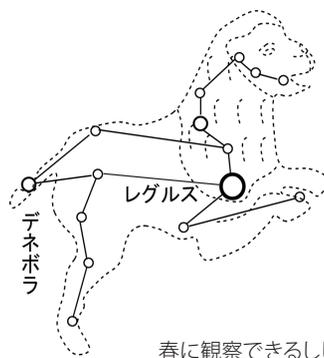
道立北方民族博物館移動展「融ける大地——温暖化するシベリア・中央ヤクーチア」

ロシア連邦サハ共和国(ヤクーチア)中央部の自然や人びとの生活、地球

温暖化の影響を紹介します。▶会期：5月26日(日)まで▶会場：交流記念館ホール▶移動展のみの観覧は無料です。

春の星座と火星観察会

おおぐま座、うしかい座、おとめ座を結ぶ「春の大曲線」を博物館前庭でさがします。また、西の空に残る火星、ヘルクレス座のM13球状星団、かに座のM44散開星団を天体ドーム室の望遠鏡で観察します。▶日時：5月24日(金)20:00~21:00※悪天候のときは25日、26日と順延します▶場所：博物館前庭集合▶定員：なし、要申込、参加費無料▶服装：防寒具着用(帽子、手袋)▶小学生以下は保護者同伴



春に観察できるしし座

着任のごあいさつ

4月から知床博物館の学芸員となりました三浦一輝(みうらかずき)です。出身は埼玉県で、北海道での生活は6年目を迎えました。専門は生態学で、これまで川や池などの、水辺にくらす生き物(魚やカエル、

二枚貝)の生態や保全について研究をしてきました。知床の生き物の面白さや魅力を伝えていきたいです!どうぞよろしくお願ひします。



三浦一輝学芸員



岩石用ハンマー 青いゴム柄のついたエストウイング社製ハンマーは適度に硬く粘り気があり、硬い石を叩いても欠けにくく、アメリカ製で少し高価ですが地質研究者のあこがれのハンマーです。私も博物館に就職して早速購入しました。今使っているのは二代目です(合)。

休館日 5月の休館日は13、20、27の月曜日です。5月6日までの大型連休中は開館しています。

編集後記 1月6日に部分日食が観察されましたが、年末の12月26日にも部分日食が見られます。今年は日食の当たり年ですね(合)。